

参考資料：スーパーシティアクションプラン

▶▶ スーパーシティアクションプラン

高松市では、2017年度から、スマートシティの実現に向けたプロジェクトを進めてきたが、これまでの3年間の成果や反省点を踏まえ、スーパーシティ準備チーム（高松DAPPY）において、スーパーシティ構想の実現に向けた進め方（**アクションプラン**）の検討を進め、2021年1月8日に公表した。

連携事業者の公募に当たっても、この高松市の考え方、進め方を理解し、一緒に取り組んでもらえる事業者を選定したものの。

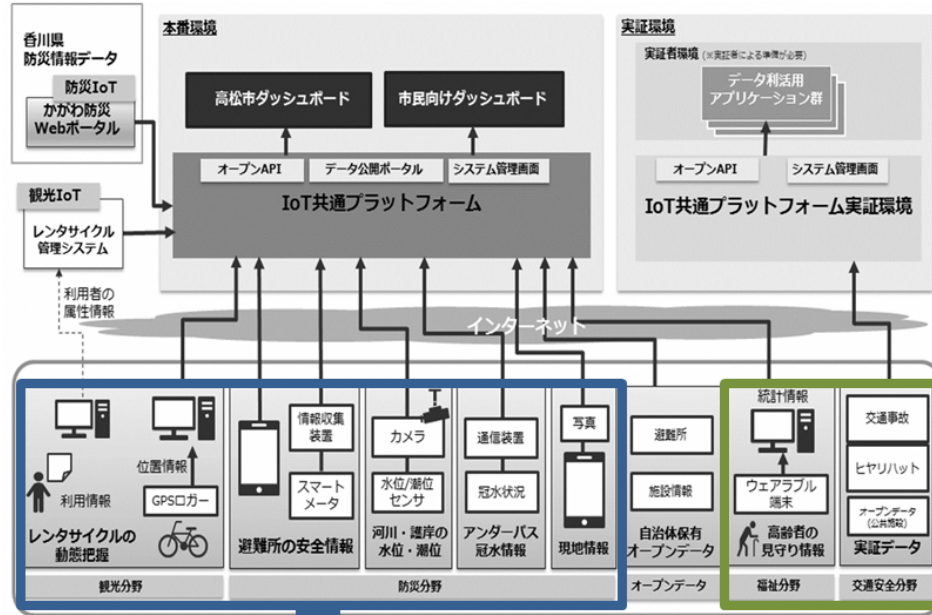
①スマートシティたかまつの考察～スマートシティたかまつ推進プラン～



参考資料：スーパーシティアクションプラン

②スマートシティたかまつの考察～展開した施策～

これまでの展開



合意形成などで
ステークホルダーの少ない分野
スタンドアローンでの
デジタル化

成果

地域間連携に
発展した分野は
あるものの…

2017年度～

防災 水位センサー等の設置による対応迅速化
観光 レンタサイクルを利用する観光客動態の把握

2018年度～

福祉 ウェアラブル端末による高齢者見守り
交通安全 交通事故ヒヤリ・ハット発生地点の特定

2019年度～

まちづくり 商店街への通行量カメラの設置
人材育成 データ利活用人材の育成
業務改革 ビデオ会議システムを利用した
お悔やみ手続ワンストップ窓口
デジタルデバйд対策
地域住民を対象としたスマホ教室

参考資料：スーパーシティアクションプラン

③スマートシティたかまつの考察～目指す形～

人口減少、少子・超高齢社会の今後

人口減少	サービスの多様化
収入 減	支出 増

現状維持
+αのため

一度でたくさんおいしい
仕組みが必要

質の高いサービスを提供するため
分野間連携による効率化

= 政策統合

分野間連携による高度化

交通

×

物流



交通

×

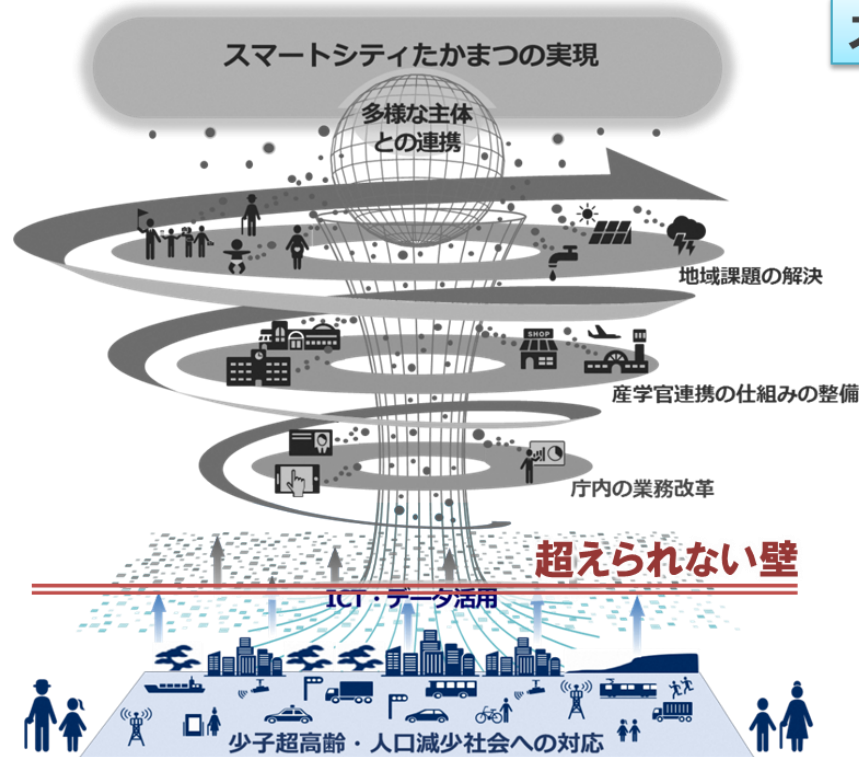
福祉



持続性の
高いサービス
を創出

参考資料：スーパーシティアクションプラン

④スマートシティたかまつの考察～課題整理【スマートシティの反省点】～



スマートシティの目指し方

部分最適から全体最適へ。
ボトムアップ型のプラットフォーム構築
が必要

と進めてきたが…
結果

- **データ収集が困難**
 - 事業者のメリットが少ない
 - 既得権が強いものが多い
- **横断的な展開が起きない**
 - 分野間で推進に差があるにも関わらずロードマップが描けていない

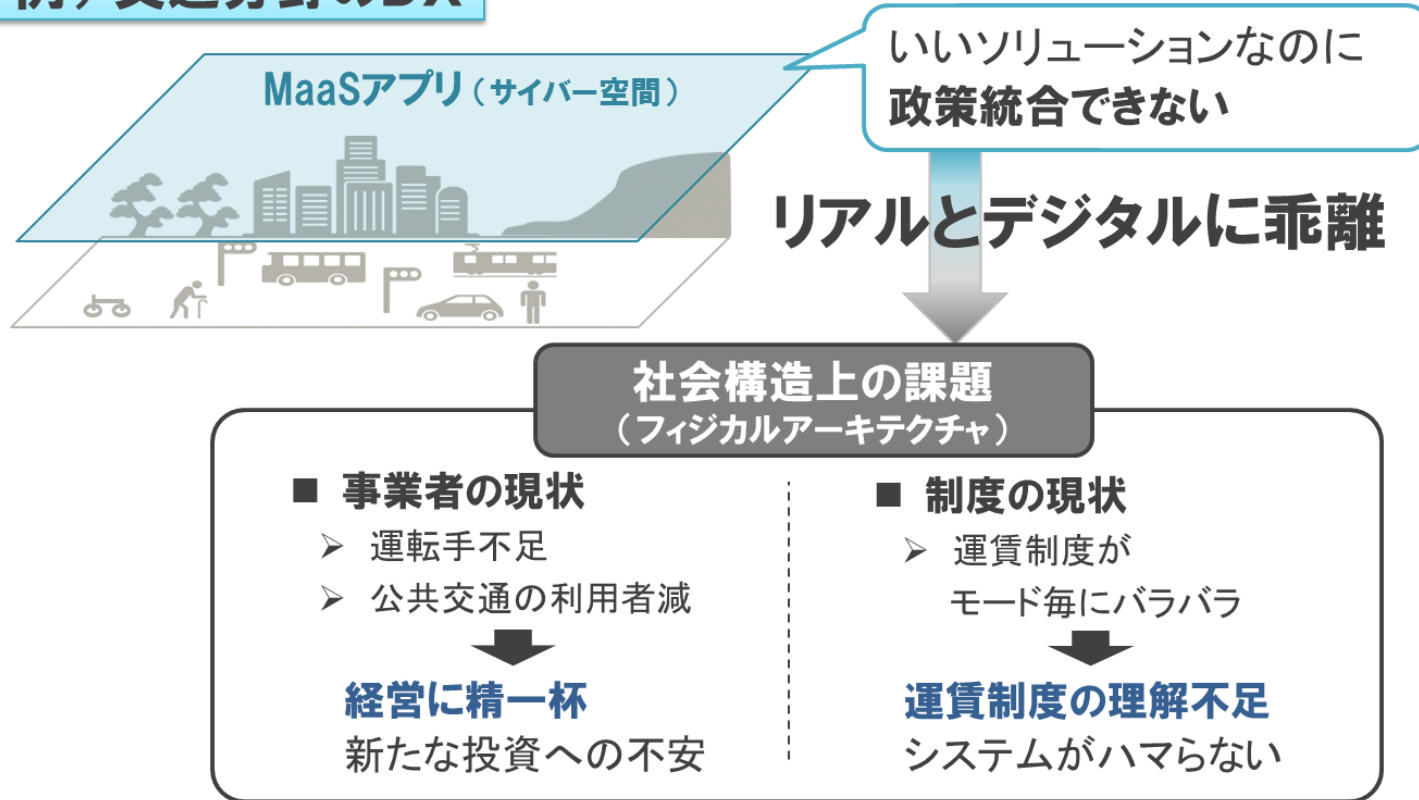
ポイント1

社会構造を理解しないまま、ソリューションを導入したことにより、ソリューション主導による、手段の目的化が起きた。

参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑤スマートシティたかまつの考察～課題整理【先行事例からの考察】～

例) 交通分野のDX



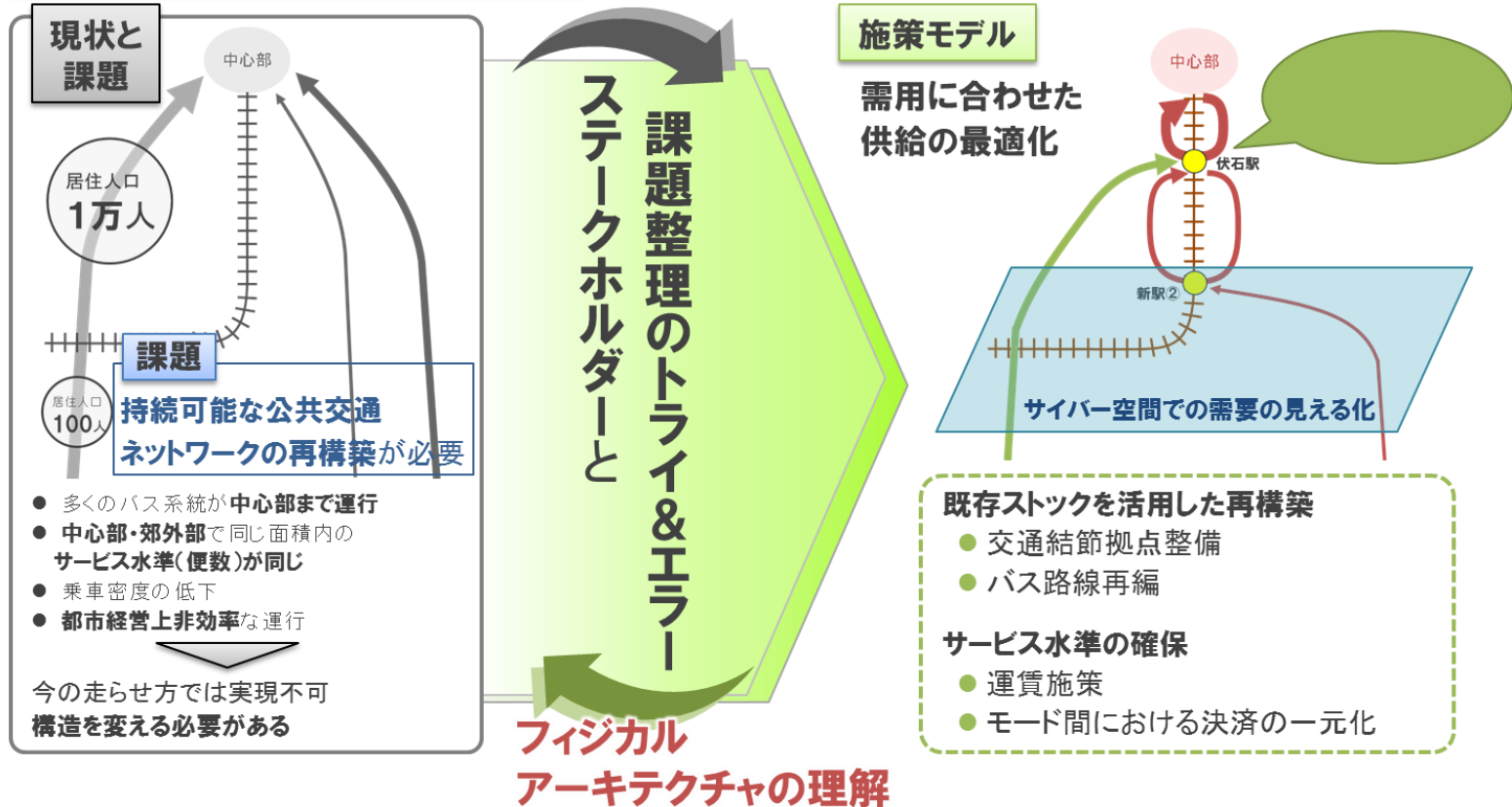
ポイント1

フィジカルアーキテクチャ(社会構造)の理解が重要

参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑥スマートシティたかまつの考察～【課題整理】先行事例からの考察～

例)アーキテクチャの共有



ポイント2

合意形成には時間が必要

⑦スマートシティたかまつの考察～【課題整理】まとめ～

スマートシティからの反省点

- ポイント1** 社会構造を理解しないまま、ソリューションを導入したことにより、ソリューション主導による、手段の目的化が起きた。

先行事例からの考察

- ポイント1** フィジカルアーキテクチャ(社会構造)の理解が重要
- ポイント2** 合意形成には時間が必要

以上を踏まえた上で

スーパーシティに向けた

ロードマップを提案

参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑧ロードマップ～手順イメージ～

現状

マスタープラン

アクションがない

ツール選択

スーパーシティの進め方

手順を変えると手段の目的化に

マスタープラン

- 社会構造上の課題整理

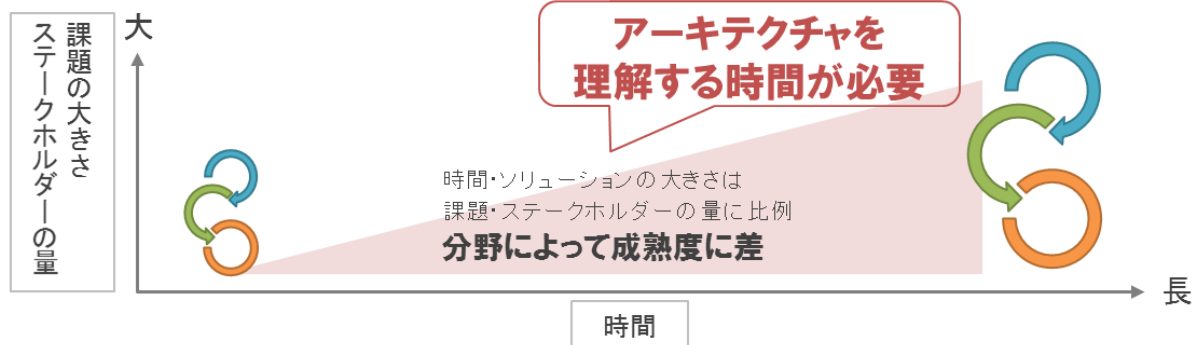
アクション

- 政策提案
 - 横断的に見る
 - 制度の仕組みを理解する
 - 足りないものを見つけ出す

ツール選択

- 規制改革
- ソリューション追加

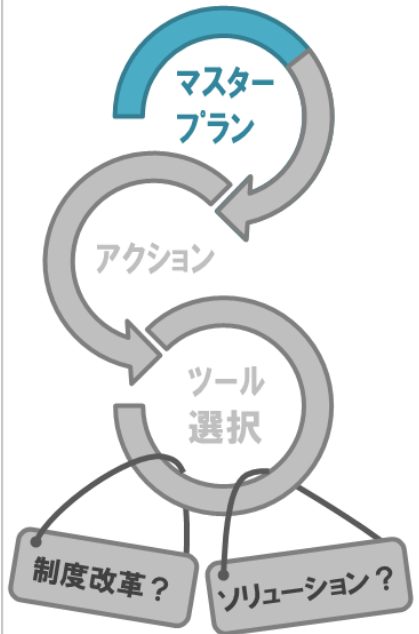
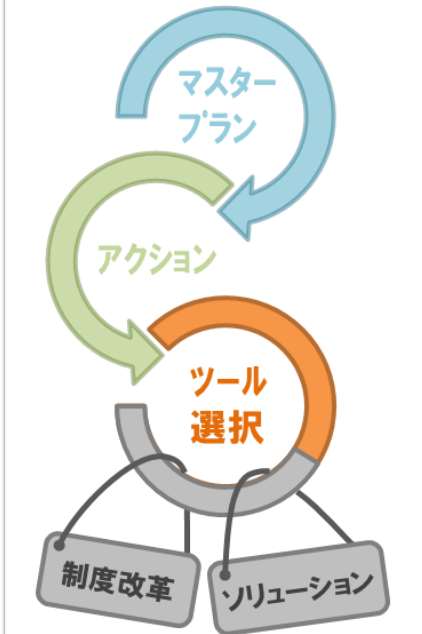
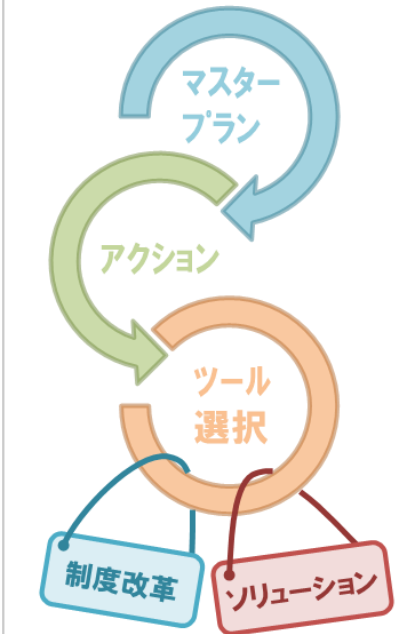
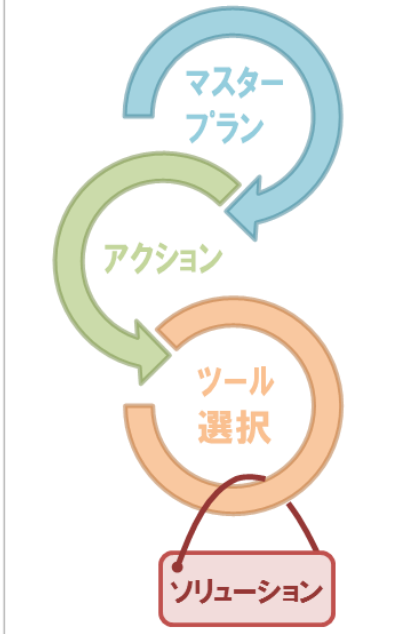
■ 時間軸



分野ごとに**ステップ**を理解した**提案**を検討

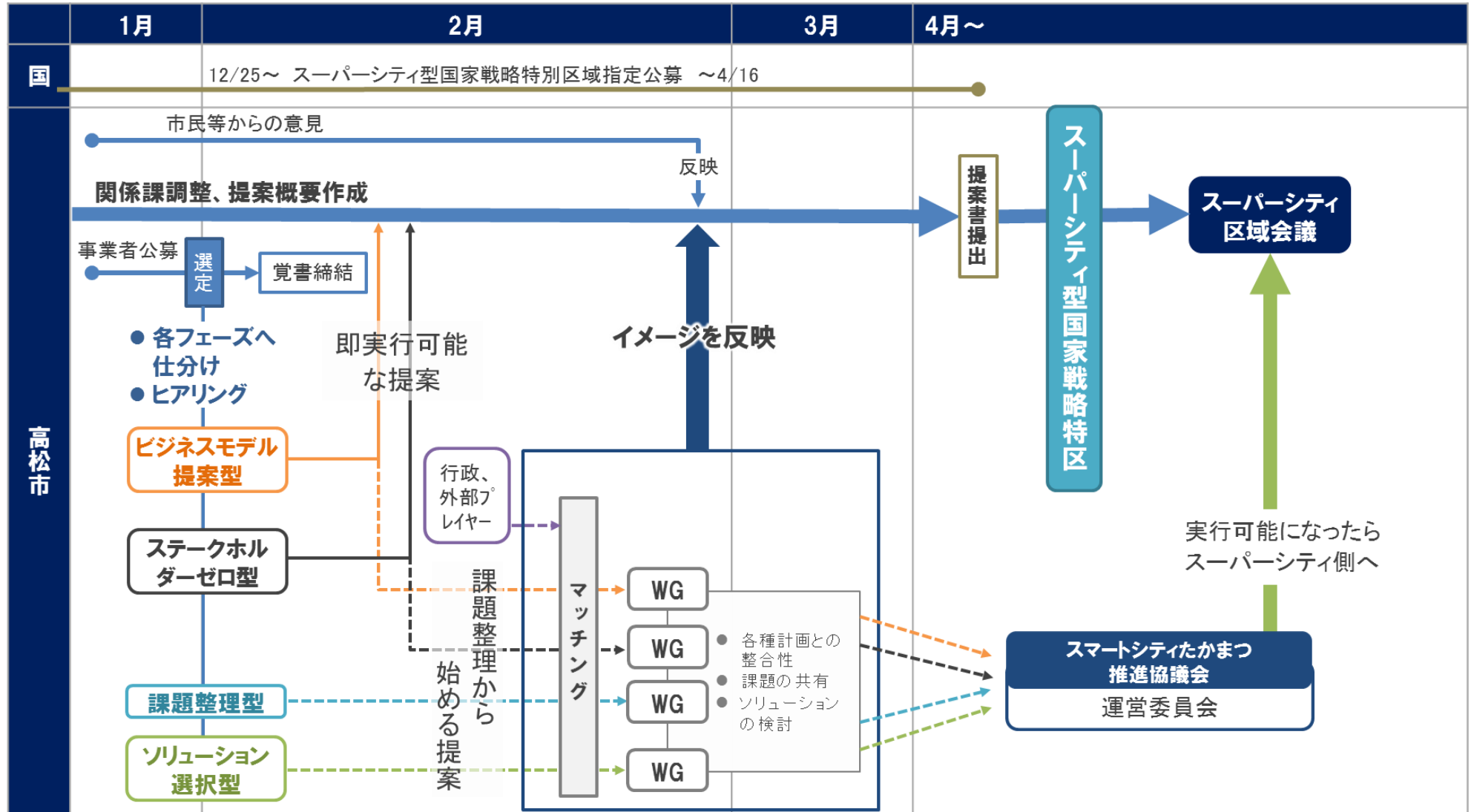
参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑨ロードマップ～フェーズによる分類～

フェーズ1 課題整理型	フェーズ2 ソリューション選択型	フェーズ3	
		ビジネスモデル提案型	ステークホルダーゼロ型
			
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題整理ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題整理・モデルの共有は終了 ● 解決手法に合うソリューションがない 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソリューションの提案を受ける ● 行政は、課題解決に寄与するか確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● ステークホルダーが少ない ● 規制改革の必要なし ● 合致するソリューションがある
<p>アーキテクチャの整理から、共にチャレンジできるパートナー</p>	<p>プランを理解しソリューションを共に組み立てられるパートナー</p>	<p>すぐ導入可能なソリューションを持つパートナー</p>	<p>すぐ導入可能なソリューションを持つパートナー</p>

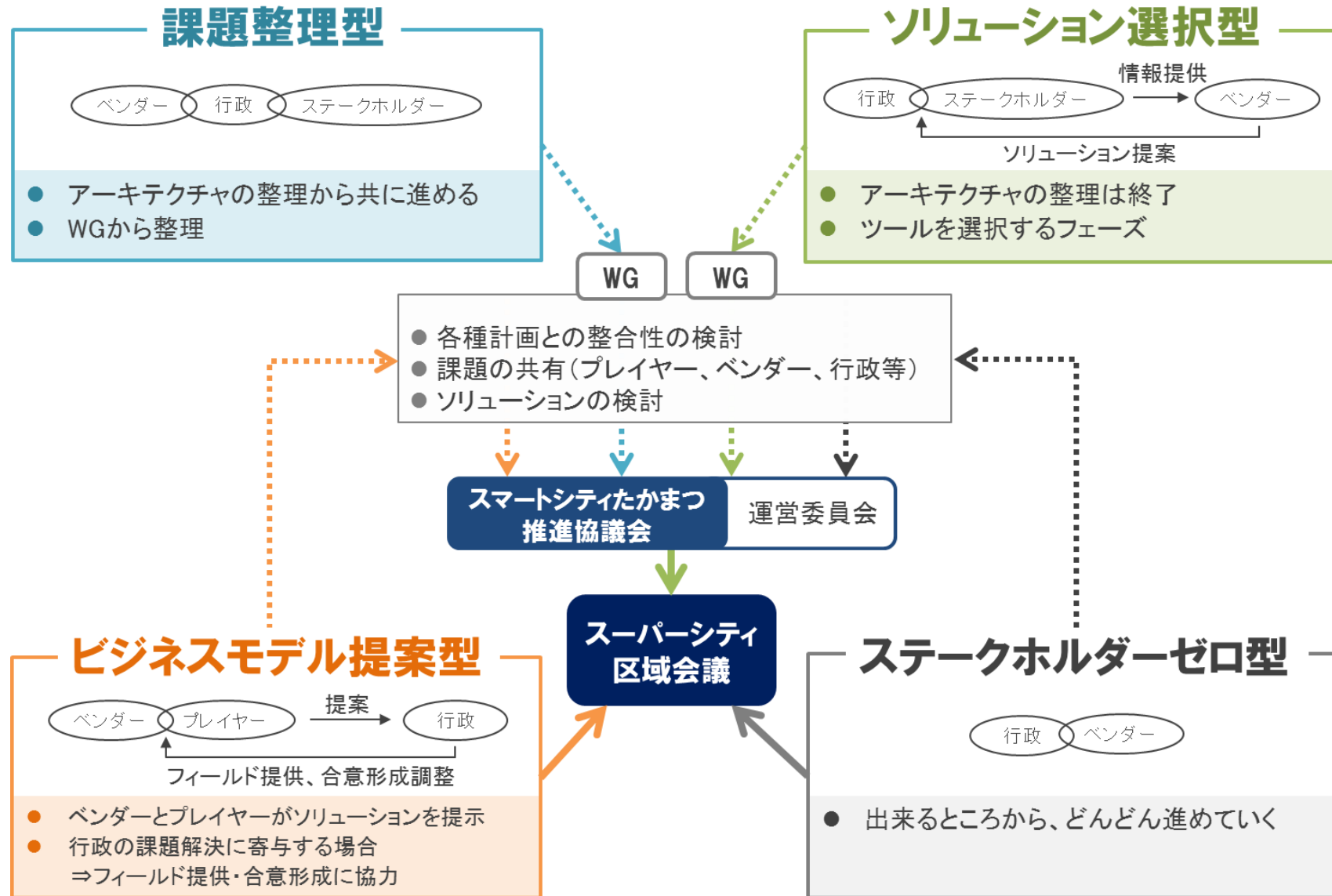
参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑩ロードマップ～スケジュール～



参考資料：スーパーシティアクションプラン

⑪ロードマップ～体系図～



⑫ロードマップ～WGの役割～

- フィジカルアーキテクチャの整理
- ベンダー、プレイヤーとの調整
- アーキテクチャとツールのマッチング

フィジカルアーキテクトの育成



WGで課題整理を行う中で
人材育成を行っていく